

# さざなみ

須崎市教育研究所 発行  
令和5年7月21日

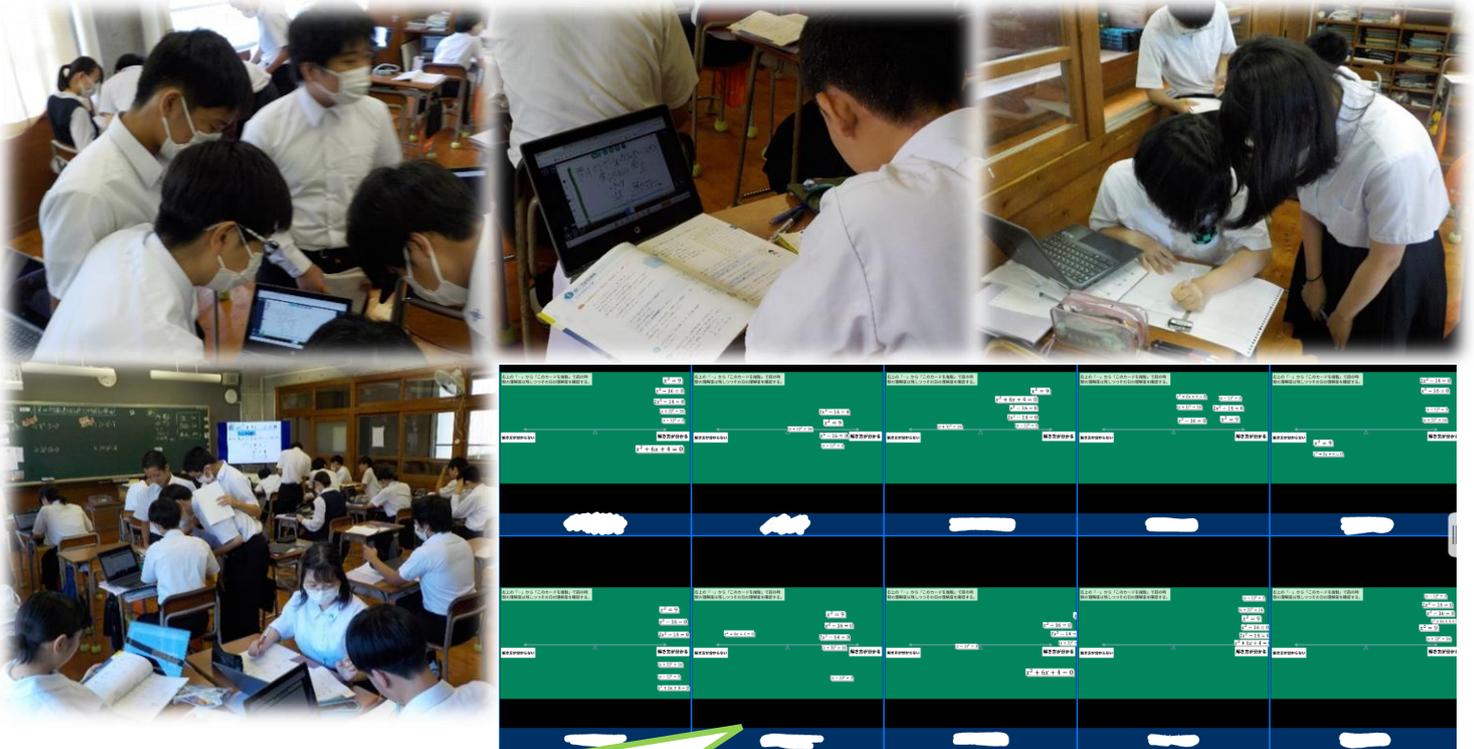
## 授業実践

朝ヶ丘中学校の第3学年「2次方程式」の単元を1つお借りして授業実践をさせていただいております。今回の実践は、『学び合い』をベースとして学習手段の1つにICT活用を取り入れる形で取り組んでいます。学び合いの時間は個人・ペア・グループなど、様々な学習形態が混在していますが、目標は「全員がめあてを達成すること」です。

教師は主に資料や教材の提示、配布のためにタブレットを活用しています。生徒のタブレット活用の目的は以下のとおりです。

- ① 動画視聴（知識・技能の習得） ② 意見の共有 ④ 理解度のメタ認知

どのようにタブレットを活用するかは、生徒に任せるようにしているので、教科書を使って学習する生徒もいます。しかし、教科書に出てくる言葉でもう少し詳しく知りたいものがあれば調べるように伝えています。



右上の「…」から「このカードを複製」で前の時間の理解度は残しつつその日の理解度を確認する。

$x^2 = 9$   
 $x^2 - 16 = 0$   
 $x^2 + 6x + 8 = 0$   
 $2x^2 - 14 = 0$   
 $(x+3)^2 = 16$   
 $(x-1)^2 = 0$

解き方が分からない ← → 解き方が分かる

授業の最初に問題を解き、解き方が分かったか分からなかったかを座標軸上で記録しておきます。自身の理解度をこまめに確認し、自分がどの部分の復習をしなければならないのかを明確にすることで、生徒自身が意図をもった学習をするように促しています。また、教師も生徒の理解度を把握し、適切に個別指導ができます。

# ICTのとびら

須崎市をPRするためのプレゼン資料をGoogleスライドで作成し、班の中で発表し合う活動をしていました。今回は、教師が音楽の入れ方なども指導し、新たな活用方法にチャレンジをしていました。

先生方の中には「自分自身あまりICTは得意じゃないから指導なんてできない…」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、使い方は調べればいくらでも出てきます。教師が知らなくても、子どもたち自身が調べれば何の問題もなく活用できます。AND検索、OR検索、-検索を駆使すれば、より早く自分の知りたい情報にアクセスできると思います。先生方自身も、分からないことはICTを活用して調べてみてください。

例「Googleスライド 音楽」「中学校 OR 小学校」「タブレット - iPad」など



ICT活用により、口頭での指示を理解することや文字で書かれた支持を理解するのが苦手な児童生徒の理解を助けることもできます。この授業では、注意事項を簡条書きで示しつつ、前のモニターで留意事項を守った撮影がどのようなものなのかというモデルを示しています。

## ★撮影するときの注意★

- ①針に糸を通した状態から撮影を開始する。
- ②玉結び、玉止めをする手の動作がはっきりと見えるように撮影する。
- ③まず玉結びをして、その後、布に針を刺して、ひと針縫い、玉止めをする。
- ④玉結び、玉止めをした後、5秒ほど静止して、できあがった玉結びと玉止めが見えるように撮影する。
- ⑤撮影してもらった後、必ず自分で確認して、提出すること。(ロイロの提出箱)



以下は実際に撮影をしている生徒の様子です。この授業では「玉結び」「玉止め」の実技テストを行っており、生徒がお互いの手元を撮影し合っています。こうすることで、担任が一人ひとり見に行くことなく、個別で評価をすることが可能となっています。テストにかかる時間も短縮できるため、その分を練習の時間や振り返りの時間に充てることも可能になっています。



こういった手法は理科の実験器具の操作やリコーダーの演奏、英語のスピーチ、書写（書道）など、様々な評価の場面で活用できるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。「こんな活用方法もある！」ということがあれば、ぜひ共有していただきたいです。